

(別紙)

＜外国人技能実習生サポート事業第2弾＞

ー 栽培事例視察研修「田原市内視察研修バスツアー」 報告書 ー

- 1 開催日時 令和1年10月27日(日) 午前8時30分～午後4時30分
- 2 開催場所 田原市内「酪農農場、田原市博物館、蔵王山、たはら国際交流協会、田原市民祭り会場、サンテパルク、バロック」
- 3 行 程
ショッピングセンターレイ 8:30 (集合出発) ～ 事業所視察 9:00～9:40 (酪農農家) ～ 田原城跡・博物館 10:10～10:50 (田原歴史・文化学ぶ) ～ 蔵王山(昼食) 11:00～12:00 (昼休憩)
たはら国際交流協会 12:20～12:40 (市民祭り・警察ブース) ～ 田原市民祭り 12:40～14:30 (外国人相談窓口) ～ サンテパルク 15:00～15:30 (買い物休憩) ～ バロック 15:45 (牛乳アイス) ～ ショップレイ 16:30 (解散)
- 3 参 加 者 外国人技能実習生 38名(インドネシア18名、ベトナム8名、フィリピン6名、中国6名)
福江高校生 4名
関係者(事業所2名、スタッフ5名) 計49名
- 4 主 催 NPO法人ウイズ
- 5 協 力 福江高等学校(高校生4名ボランティア)
- 6 後 援 田原市、田原市教育委員会、たはら国際交流協会、JA愛知みなみ、渥美商工会

＜内容＞

1、目的

NPO法人ウイズでは、外国人技能実習生を対象とした「外国人技能実習生サポート事業」を実施。第2弾として、技能実習生が受入れ先の農家以外の農業の状況をバスツアー形式で紹介する。その際、普段は知ることが少ない田原市の歴史や名所なども併せて紹介を行い、今後の実習生活に役立つことを目的に開催。

また、この事業実施に当たっては、企画および当日の運営の補助を福江高校観光ビジネスコースに依頼し、多国籍の実習生との触れ合いによる国際交流を通じて、充実した学校生活を学ぶことを目的とした。

2、内容

①ショッピングレイ 8時30分出発。

出発直前に欠席者がいたが、全員時間通りに集合し出発。

②事業所視察

この事業の目的は、前述したとおりだが、今回は搾乳農家(伊藤農場)を視察した。そこで、伊藤社長の説明とお話を聞き大変有意義な視察となり、ここで搾った牛乳でアイスクリームを作っているお店「バロック」へ、帰りに立ち寄ることを約束し、博物館へ向かった。

③田原城跡・博物館見学

当日は、日本のアニメーション美術の創造者【山本二三展】が開催されており、実習生は写真を撮ったりしてそれなりに学び楽しんだ。

④蔵王山にて昼食

参加者全員に弁当とお茶を配布。お天気も良くそれぞれが休憩ベンチ等で昼食。出発の時間となり参加者全員で記念写真を撮った。

⑤田原国際交流協会・田原市民祭り

予定の時間より早く「たはら国際交流協会」に到着。交流協会の事務所にて太田事務局長の話を聞き、その後散会し、参加者全員で市民祭りを楽しんだ。

⑥サンテパーク（農産物買い物休憩）

思ったより買い物をする実習生は少なかった。早い時間に立ち寄ればそれなりの農産物が豊富にあると聞いていたが、行程が合わず夕方になり農産物はあまり豊富ではなかった。次回は立ち寄る時間を考慮する必要がある。

⑦バロック（伊藤農場の牛乳を使ったアイスクリーム店）

伊藤社長の出迎えで実習生全員が店内に入り、それぞれが好みのアイスを選びおいしそうに食した。

<所見・効果>

本来の目的は、技能実習生が受入れ先の農家以外の農業の状況を経験してもらうことにあり、今回は「酪農家：デイリーパラダイス」の1事業所（社主：伊藤 立）を視察した。牛舎に入って気が付いたことは音楽（バロック音楽）が流れていることである。これは働いている人にではなく牛に聞かせるため、牛をリラックスさせストレスを和らげる効果があり、より良い牛乳が搾れるとのこと。

この農場では1日5000リットルの牛乳を生産（搾乳）していると聞いている。また、ここで搾乳した新鮮な牛乳を使って、スイーツ&ジェラート（アイスクリーム）を製品化し「バロック」というお店を構え提供している。

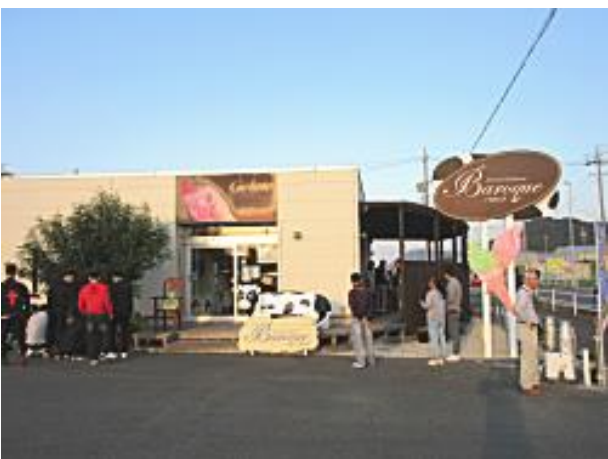
実習生のほとんどが初めての経験であり興味津々牛舎の中を見入っていた。伊藤社主の話もあり充実した視察となった。

次に、田原市内の田原市博物館、蔵王山、たはら国際交流協会、田原市民祭り会場、サンテパーク、バロック」を巡回した。これらの体験は今後の実習生活にとって貴重な経験であり、視野が広がりこれからの実習生活に役立つことと思う。

<資料写真>







<新聞報道>

令和元年 10 月 30 日 東愛知新聞に刊されました。

《7》 社 会 2019 年（令和元年）10 月 30 日（水曜日） 東 愛 知 新

農業と共に歴史や文化学ぶ

外国人実習生と巡る田原

ウイズ

インドネシアなどの外国人技能実習生のサポート事業を実施している NPO 法人渥美半島まちづくり推進機構（通称・W i t h ウイズ、渡会一昭理事長）が、田原市内の外国人実習生を対象に市内の農家や名所などを巡るツアーを実施した。同市内では、1000 人を超える外国人が農業技能実習を行っており、地域ぐるみの支援を進めている。

ツアーは、田原市民まつりが開催された今月 27 日に実施。受入先以外の農業の状況や、普段は知ることが少ない同市の歴史、名所を紹介し、田原への理解を深めてもらうと企画した。地元の県立福江高校生徒も協力した。

実習生を募集したところ、インドネシアの 18 人とベトナムの 8 人、フィリピンの 6 人、中国の 9 人の計 41 人が参加。バスで巡り、酪農家の牛舎を見学したほか、歴史や文化を学ぶため市博物館を見物、昼食を兼ねて太平

洋や三河湾を望める蔵王山頂上、市民まつり会場なども訪れた。

はなのき広場などで行われた市民まつり会場では、グループに分かれ、催しや飲食物販売などを見て回り、市民ともふれ合った。

フィリピンの女性たちは、出店していた他のフィリピン女性と出合い交流。 「市民まつりは初めて」「蔵王山からの景色は美しい」などと日本語で感想を話した。

（中村晋也）



田原市民まつり会場を見学するフィリピンの女性たち＝田原市はなのき広場で

